

あいさつ

平成28年4月1日

島根県教育センター所長

〃 浜田教育センター長

村木 隆夫

私たちの住む島根県は、美しい自然に恵まれ、古き良き文化・歴史、「ひと・もの・こと」が有機的につながった豊かな地域社会等々、全国に誇れるものが数多くあります。その一つの要因は、多くの先人たちが築いてきた「島根の教育」のなせる業であります。社会をつくりあげていくのが「人」なら、その「人」をつくるのが教育です。

現在、社会の急激な変化の中で、教育を取り巻く環境も大きく変化してきています。その中で学校は学習や生徒指導上において様々な課題に直面しています。それは島根県でも例外ではありません。これらのすべてを学校で解決できるわけではありませんが、こういった様々な課題に適切に対応していくためにも、一人一人の教員の力量が今まさに問われているところです。

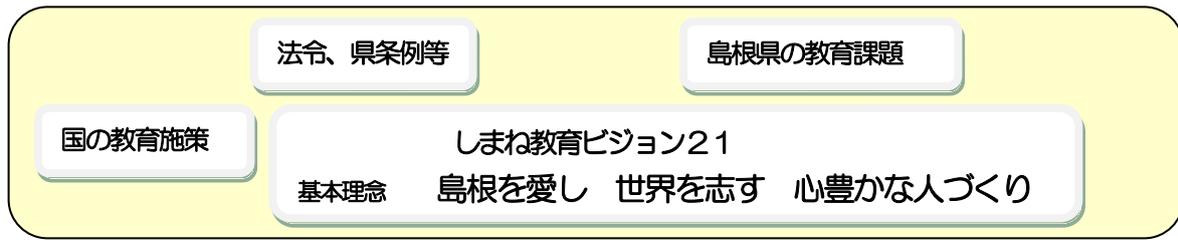
教員に必要な資質能力については、使命感、教育的な愛情、教科や教職に関する専門的な知識、実践的な指導力等々、これまでも必要とされてきた資質能力に加えて、教員自身が時代や社会、環境の変化を的確につかみとり、その時々状況に応じた学びを子どもたちに的確に提供することがあげられます。そして教員自身が時代の流れや変化に柔軟に対応していくことができるためにも、自らも学び続けるといった資質能力も強く求められています。それはまさに学校教育に寄せられる期待でもあり、使命でもあります。

島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センターでは、「**学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター**」を基本姿勢に取り組んでいます。その中でも教職員の資質・能力の向上は最大の課題であると捉えています。「教育は人なり」と言われるように、学校教育の最大の担い手である教職員の育成は、当センターの最大の使命であります。

島根県は、離島を含め、東西に広い県です。県を単純にひとくくりにはできない実態があります。都市部と中山間部、離島との実態の違い、東部と西部との実態の違いがあります。大事なことは、教育の課題を単純にひとくくりせず、各地域の実情をしっかりと見極めながらも、県としての考えを明確に示し、県全体を俯瞰して取り組んでいくこと、日本や世界を視野に入れて取り組んでいくことだと考えています。

日本や世界に誇れる文化や伝統をつくりあげ、様々な分野で活躍する多くの人材を輩出してきた「島根の教育」。それを担う教職員や学校、家庭、地域の支援こそが、島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センターの最大の使命であります。今年度も昨年度に引き続き、以下の方針によって運営して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

- (1) 島根県教職員研修計画の研修体系に基づいた計画的かつ継続的な研修を行うとともに教育庁各課・教育事務所等との連携を進め、研修と指導・支援の一体化を図りながら教職員の資質・能力の向上を図る。
- (2) 各種調査を分析し捉えた本県の教育課題に対して、学校現場で役立つ情報や提言を積極的に発信する。
- (3) 国の教育改革の動向等に関する積極的な情報収集・提供に努めるとともにそれを踏まえた調査・研究を進める。
- (4) 教育相談の充実を図り、児童生徒等の自己実現や社会的自立への支援を行う。
- (5) 校内研修の活性化のため、直接学校に出向き、教職員に対して積極的に支援を行う。
- (6) 市町村教育委員会や県内大学、近隣県との連携を推進し、研修の充実を図る。



基本姿勢（スローガン）

学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター

- 〈4つのワークで支援します〉
- ・教育庁各課・各教育事務所と連携し、研修と指導・支援の一体化を図る (チームワーク)
 - ・学校等からの相談、要請に適切に対応し、直接、支援する体制を強化する (フットワーク)
 - ・今日的な教育課題に対する調査研究を推進し、積極的に教育情報を発信する (ヘッドワーク)
 - ・市町村教育委員会、各種教育研究団体、大学、鳥取県等との連携を推進する (ネットワーク)

